

経営比較分析表

岡山県 高梁市

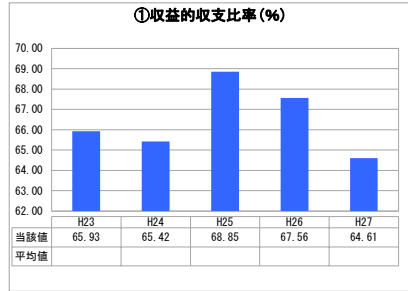
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	38.06	67.73

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,363	546.99	59.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,199	4.66	2,617.81

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



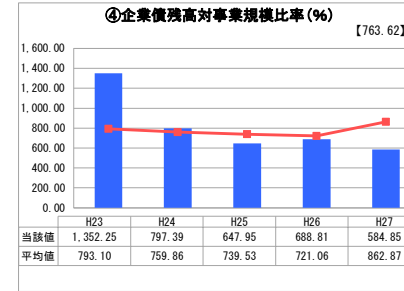
「単年度の収支」



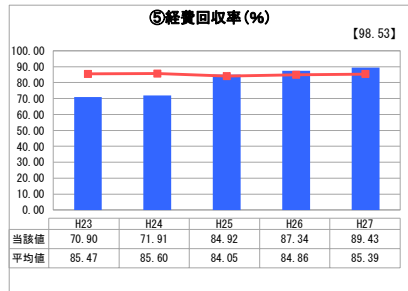
「累積欠損」



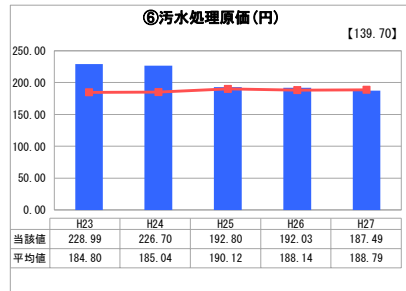
「支払能力」



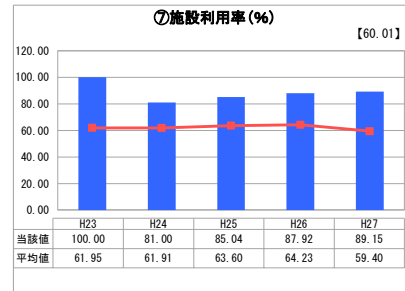
「債務残高」



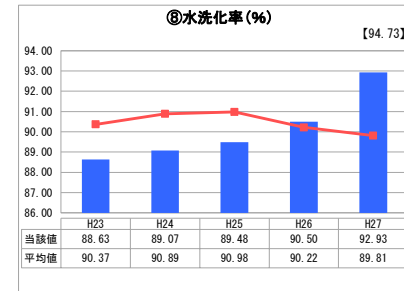
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

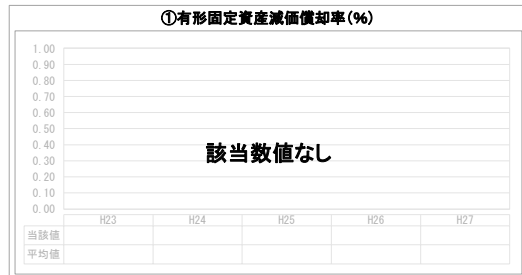


「施設の効率性」

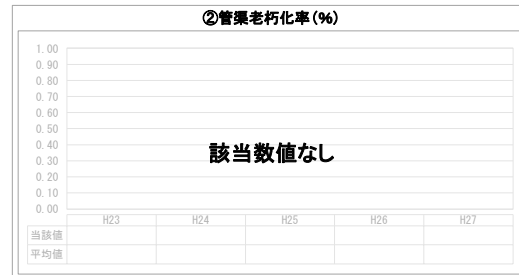


「使用料対象の捕捉」

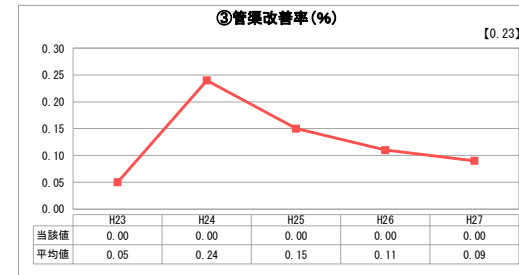
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は低率であり、基準内繰入金による経営を行っている。一方で経費回収率及び汚水処理原価は平均値近辺にあり改善傾向にあることから、初期投資に係る起債償還が経営を大きく圧迫している状態にある。

企業債残高については、面整備が終了しており、初期投資に係る起債が徐々に完済時期を迎えることから減少を続けている。しかし供用開始から25年以上が経過し、機械電気設備が老朽化による更新の時期にあることから今後は増加が懸念される。このことについてはストックマネジメントを適正に行い、無駄な投資を抑制するとともに補助金等を有効活用することにより経営悪化への影響を最小にするよう努める。

また、未接続家屋の解消により施設利用率及び水洗化率の向上を図り、歳入の確保による健全化に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

管渠の老朽化については、供用開始から30年未満であることから即時機能停止につながる老朽化は認められず、本格的な改築等には着手していない。しかし、下水特有の硫化水素等によるマンホールの腐食劣化等が一部で発現し、事後保全による更正を行うこととなった。今後は管路の調査を進め、必要に応じてストックマネジメント計画による改築を検討する必要がある。

全体総括

初期投資に係る起債償還を使用料収入で賄うことは困難であることから繰入金による経営を行っている。

収入については、面整備が完了していること及び区域内人口が微減傾向にあることから、使用料収入は現状で横ばいの状態にある。一方、機械電気設備等の老朽化が進行し、今後は改築更新に伴う支出の増加が見込まれる。

今後の経営については、改築更新における適正なストックマネジメントによる効率的な投資や、運転管理等の業務の見直しによる支出抑制とともに、使用料の見直しも視野に入れ財源の確保を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

岡山県 高梁市

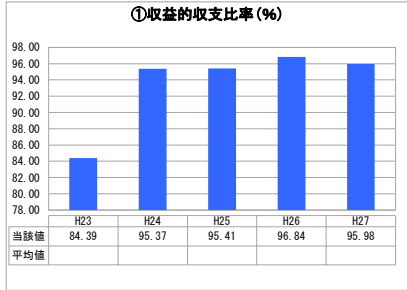
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.05	67.73	3,110

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,363	546.99	59.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,297	0.53	2,447.17

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



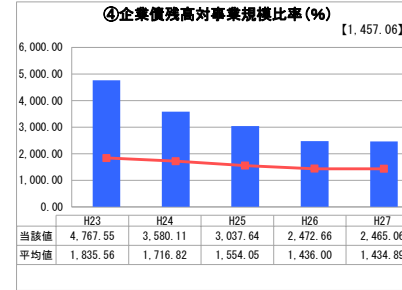
「単年度の収支」



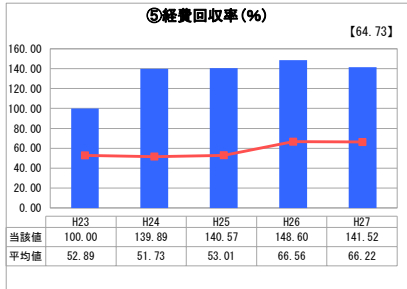
「累積欠損」



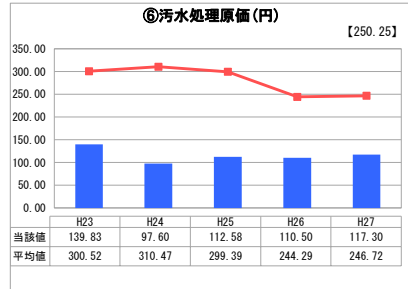
「支払能力」



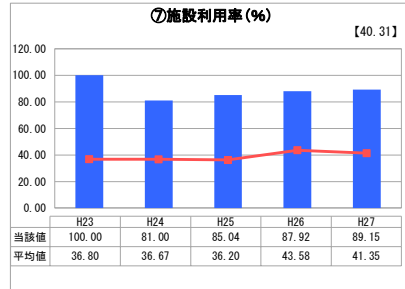
「債務残高」



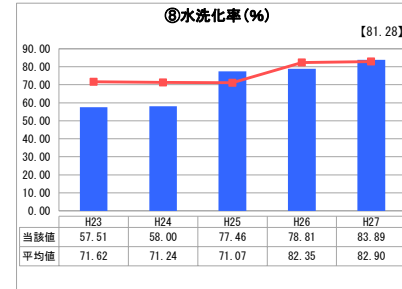
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

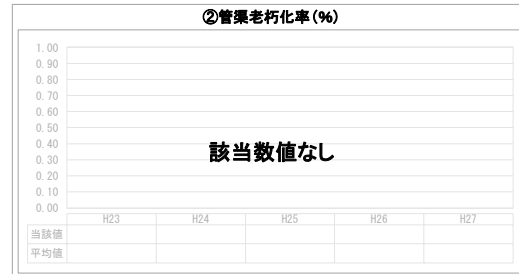


「使用料対象の捕捉」

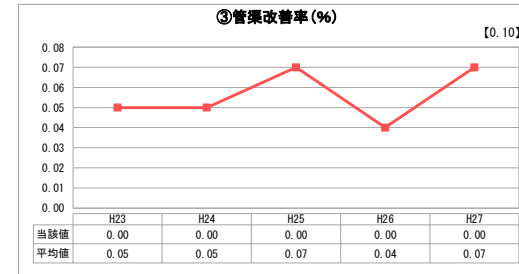
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率が100%を下回る部分については基準内繰入金による経営を行っている。経費回収率及び汚水処理原価は平均値と比較し良好な数値を示しているが、管渠のみの事業であり維持管理費が限定的であることによる。企業債残高については、依然高い規模ではあるが、面整備が完了していることから当面減少することになる。また、未接続家屋の解消により施設利用率及び水洗化率の向上を図り、歳入の確保による健全化に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

管渠の老朽化については、供用開始から短期間であることから認められていない。しかし交通量の多い国道部分のマンホール等については、事故防止の観点から状態を注視する必要がある。

全体総括

初期投資に係る起債償還を使用料収入で賄うことは困難であることから繰入金による経営を行っている。面整備が完了し、区域内人口及び使用料は当面は横ばいの状態にあるが、今後減少傾向になることが予想される。一方、将来的には管路の老朽化進行に伴う支出の増加が見込まれる。今後の経営については、公共下水道と一体的に経営の改善を図るため、使用料の見直しも視野に入れ財源の確保を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

岡山県 高梁市

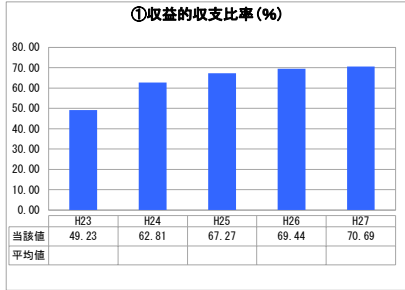
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	0.19	76.81	3,110

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,363	546.99	59.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
60	0.05	1,200.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



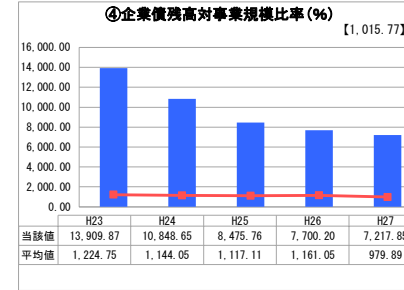
「単年度の収支」



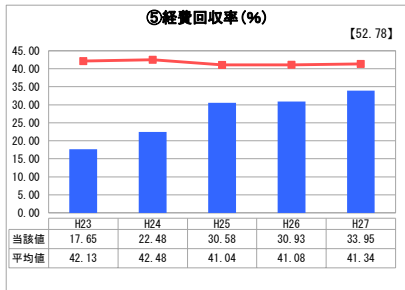
「累積欠損」



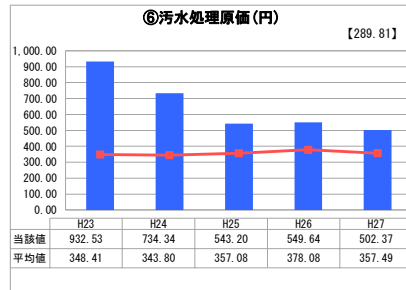
「支払能力」



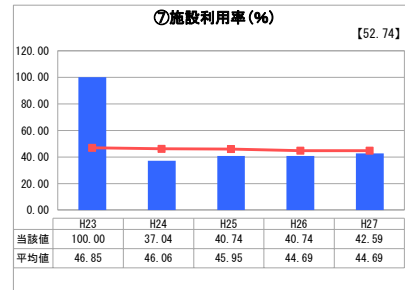
「債務残高」



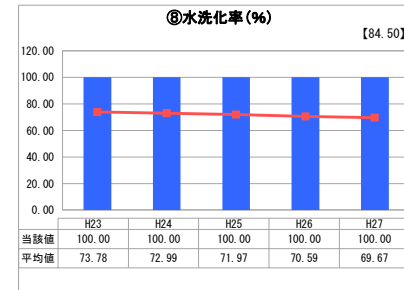
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

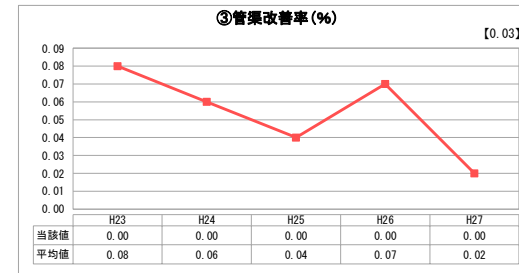
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は低率であり、繰入金による経営を行っている。また経費回収率及び汚水処理原価についても非常に厳しい状況にある。これは本施設が人口の減少が進む山間の集落のみに係るものであることを理由としており、流入人口はほぼ見込めないことから今後も経営の改善は非常に難しい状況にある。

企業債残高については、整備が終了していることから減少している。

また、未接続家屋はなく、水洗化率は100%であるが、整備後に自然減も含め人口は減少しており、施設利用率は平均値よりも低い。

2. 老朽化の状況について

管渠の老朽化については、供用開始から15年未満であることから即時機能停止につながる老朽化は認められない。

全体総括

汚水処理費や起債償還を使用料収入で賄うことは困難であることから繰入金による経営を行っている。

収入については、新規利用者が見込めないことから人口減少に合わせ使用料収入も減少する見込みである。

一方、現状では施設等の大幅な老朽化は認められないが、機器類の小修繕の増加が懸念される。

今後の経営については、使用料の見直しによって大幅な経営改善は難しいが、本地域には飲用水の水源となるダムもあり、機能を維持するため財源の確保を行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

経営比較分析表

岡山県 高梁市

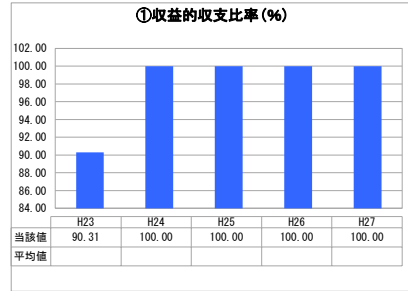
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	1.66	100.00	2,670

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,363	546.99	59.17
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
533	46.69	11.42

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



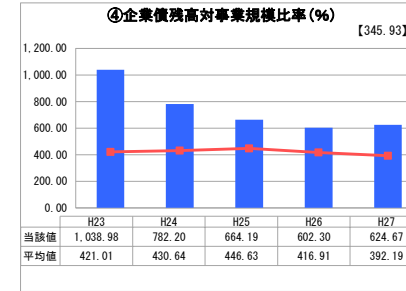
「単年度の収支」



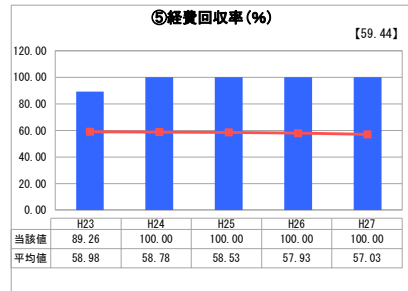
「累積欠損」



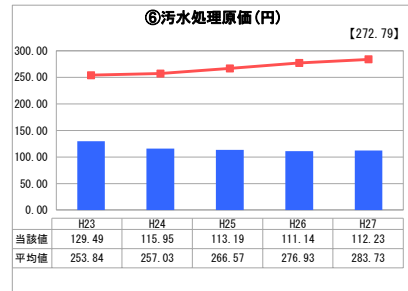
「支払能力」



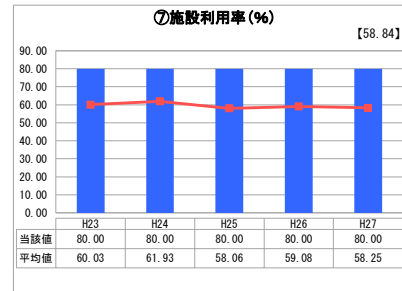
「債務残高」



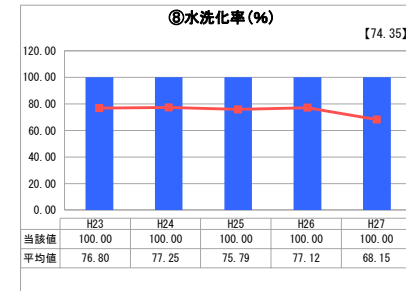
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

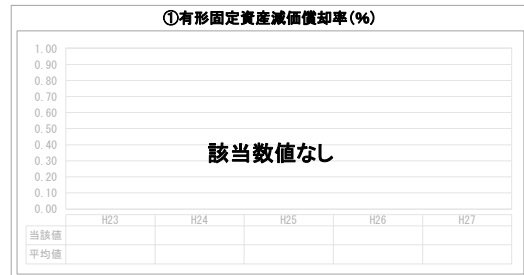


「施設の効率性」

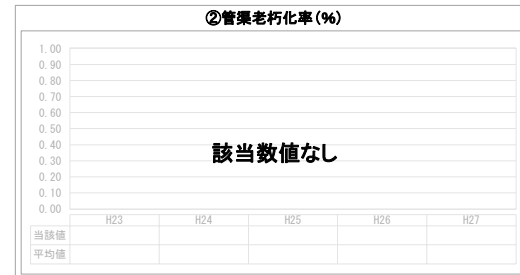


「使用料対象の捕捉」

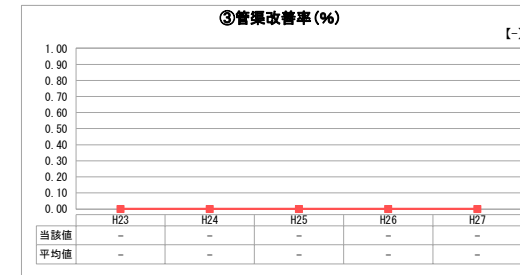
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率及び経費回収率は100%である。汚水処理原価も平均値に比較し良好な数値を示している。
 企業債残高については、供用開始して10年程度でありまだ高い水準であるが、今後新規整備の見込みもないことから減少することになる。
 また、事業の性質上水洗化率は100%である。施設利用率については、過疎地域における事業であることから、後は人口の自然減に伴う空き家の増加により、低下傾向となることが懸念される。

2. 老朽化の状況について

供用開始から10年程度であることから即時機能停止となる老朽化は認められていない。今後は劣化状態を注視する必要がある。

全体総括

事業の性質上、汚水処理費は使用料で賄われるが、人口の自然減に伴う利用率の低下が懸念される。また、将来的には施設の老朽化に伴う改築への対応も視野に入れる必要がある。
 市内の他地域は民間設置浄化槽に補助金を支出し対応しており、将来の施設の老朽化に合わせ、事業のあり方の見直し検討も視野に入れる必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。